

한통련 뉴스레터

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●大統領選挙、接戦続く…李候補、尹候補の「自衛隊、朝鮮半島に進入可能」発言を厳しく批判



討論会の前に握手する候補者たち。左からシム・サンジョン候補、ユン・ソンニョル候補、アン・チョルス候補、イ・ジェミョン候補

3月9日投開票の韓国大統領選挙。与党「共に民主党」の李在明(イ・ジェミョン)候補と第一野党「国民の力」の尹錫悦(ユン・ソンニョル)候補の「2強」は、支持率40%前後でしのぎを削る激しい接戦を繰り返している。こうしたなか、共に民主党は27日、李氏の「統合政府」構想を支える「国民統合政治改革案」を発表した。これについて李氏は「党の今回の決定が、国民統合を望む国民の期待に応えて、葛藤と分裂を終わらせる転換点になることを願う」とし、政界に積極的な呼応を促すとともに、「言葉でなく実践で示す」と強調した。注目された尹氏と「国民の党」の安哲秀(アン・チョルス)候補との一本化交渉は27日、最終的に決裂したとし、双方が決裂の責任を転嫁する非難合戦を繰り返した。ところが両氏は3日、両党の候補を尹氏に一本化することで合意したと発表。尹氏は「安候補の意思を受けて必ず勝利し、一緒に国民統合政府を必ずつくって成功させる」と強調した。両氏は大統領選後、両党の合併を進めることでも合意した。これに対して李氏は記者団に「政治は政治家が行うようにみえるが、事實は国民が行うものだ。歴史と国民を信じる。国民生活と経済、平和、統合の道を力強く歩んでいく」と語り、野党候補の一本化を戦略的なものとみなし、国民の賢明な判断に訴えた。共に民主党は「地位を分けあう野合」と規定し批

判、政治ビジョンも提示されないまま成し遂げられた一本化だと指摘した。

一方、選挙管理委員会が2月25日に主催した第2回大統領選挙候補者テレビ討論会で、正義党のシム・サンジョン候補の韓米日同盟に関連した質問に対し、尹氏が有事に日本の自衛隊が朝鮮半島に進入する可能性を示唆した。李氏は26日、特別声明を通じて「韓日関係の悪化は韓国政府のせいだとか、福島原発は爆発ではなく放射能流出はなかったなど、日本極右勢力の主張に同調してきた尹氏が、昨日の討論で、有事に日本の自衛隊が韓国に進入できるとの暴言をした」「大統領候補の発言とはとうていみなすことはできず、尹氏の国家観と対日認識を示した」とし、発言の取り消しと謝罪を求めた。李氏は3・1独立運動103周年を迎えた1日のテレビ演説で、「過去の侵略の事実を反省さえしていない日本の自衛隊が、再び朝鮮半島に足を踏み入れることをわたしは決して容認しない」「完全な自主独立を願った愛国烈士とわが国民の前で、決して恥じない道を進んで行く」と明らかにした。また、大統領府の朴洙賢(パク・スヒョン)国民疎通首席秘書官は1日のラジオ番組で、尹氏の発言について「日本と韓国は軍事同盟ではない」と批判した。尹陣営は李候補の主張は事実と異なると反ばくしている。

李候補と尹候補の接戦が続くなか、両陣営は当然、他の候補の取り込みに関心を向け取り組んでいる。共に民主党の国民統合政治改革案は尹候補と国民の力を除く候補者と政党にウイングを広げたものだ。また、紆余曲折の末に成立した尹候補と安候補の一本化もそうしたものだが、「政権交代」の看板ばかりが先行しながら、具体的な共通政策が十分でないままの一本化には批判の声も多い。また、在外投票終了後に安氏が候補をおりたことにより、同投

票での安氏への票は死票となった。貴重な有権者の1票を軽んじるものだ。尹候補の暴言はいまに始まったことではないが、朝鮮に対する「先制攻撃」論、サード（THAAD、高高度ミサイル防衛システム）基地追加配備の主張に続いて、「自衛隊の進

入可能」発言まで飛び出した。これまで積み重ねられてきた朝鮮半島の平和と祖国統一の実現に向けた努力を無視し、自主的な歴史認識も欠いた危険ともいえる思考は、大統領候補としての資質に疑問を抱かせる。厳しく批判されて当然だ。

●韓米合同軍事演習、4月第2週で調整中…合同演習の中止で関係改善を！

東亜日報（電子版2月7日）は、韓米が上半期の合同演習を4月第2週から実施することを暫定的に合意し、細部の日程を調整中だと単独報道した。韓国側は、文在寅政権の任期内で最後となる今回の上半期合同演習において、戦時作戦統制権を移管するうえでの条件のうち第2段階の完全運用能力（FOC）評価を実施したいと提案したが、米側は政権交代後の下半期（秋期）に実施すべきだとの立場を固守しているとのこと。オースティン米国防長官が昨年12月、韓米安保協議会議（SCM）後の記者会見で、FOC評価を今年下半期に実施すると言及しており、上半期実施と急ぐ必要はなく、韓米が合意したFOC評価の日程に変更はないというのが米側の姿勢。FOC評価はこれまで3回の合同軍事演習では「予行演習」だけ行われた。一方、韓国国防部は7日、同報道に対して「韓米合同軍事演習の時期

に関連しては現在確定していない」と述べた。

文在寅（ムン・ジェイン）大統領は任期内の戦時作戦統制権の移管を公約として掲げていたが、米国内に強く主張もできないまま振り回され、目標の実現は結局不可能となった。バイデン政権は朝鮮に対し「敵視はしていない。無条件で対話を」と呼びかけて、対話外交の機会をうかがうが、朝鮮は先行条件として「敵視行為の撤回」を求めている。敵視行為の代表的なものがまさに韓米合同軍事演習である。朝米関係の改善と朝鮮への侵攻作戦である合同軍事演習は両立しない。それは南北関係も同様だ。2018年に行われた歴史的な南北、朝米首脳会談と会談から導き出された貴重な合意は、韓米合同軍事演習の中止から始まった情勢転換が生み出したものであることを想起するときだ。韓米合同軍事演習を中止し南北、朝米関係の改善に乗り出すべきである。

활동보고 活動報告

●「韓国大統領選挙を考える集い」を開催(大阪)



パネルディスカッションで発言するパネラーたち

3月9日の第20代韓国大統領選挙をひかえ、2月20日、韓統連大阪本部主催で「2022年韓国大統領選挙を考える集い」がKCC会館（大阪市生野区）で開かれた。

集いでは初めに、金隆司（キム・ユンサ）代表委員が主催者挨拶し「今回の大統領選挙は今後の韓国社会の将来だけでなく、南北関係、韓日関係にも影響を与える重要な選挙になります。今日の集いを通じ大統領選挙の現状と展望について認識を共有しましょう」と語った。

続いて第1部として「自主・民主・統一から展望する韓国大統領選挙」をテーマに、金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が情勢講演を行った。

金副代表は講演の中で、韓国社会における自主・民主・統一運動の発展と過去の大統領選挙について解説するとともに、今回の大統領選挙の歴史的意義について▲独裁政権への回帰を二度と許さないこと▲積弊勢力の清算を本格的に推進すること▲平和と繁栄の新たな時代、自主的民主政府と連邦制統一へと進むことと指摘、「大統領選挙は文在寅政権の政策を引き継ぐのか、政権交代なのか焦点になり、接戦が予想される」と語った。また、私たちの課題として「どのような結果であれ、朝米対話の再開、南北関係の改善、朝日ピョニョン宣言の履行など、これまでの私たちの運動を継承・発展させることが大切だ」と主張した。

第2部では、李哲（イ・チョル）ウリ民主連合会長、梁千賀子（ヤン・チョナジャ）民族講師、趙暎和（チョ・ヨンファ）韓青大阪府本部委員長を招いてのパネルディスカッションが行われ、各パネラーから第20代大統領選挙に対する考えと民族教育の保障など次期政権の在外同胞政策への期待などが語られた。最後に金昌範（キム・チャンボム）副代表委員が閉会挨拶した。

●3.1独立運動103周年集会を開催(大阪)



金昌五副代表委員による講演

3・1独立運動103周年を迎え、3月1日、日韓平和連帯の主催で「3・1独立運動103周年 日韓・日朝関係の現状と展望を考える大阪集会」がエルおおさかで開かれた。

日韓平和連帯の西山直洋事務局次長による開会挨拶後、金昌五（キム・チャンオ）韓統連大阪本

部副代表委員が「なぜ、史上最悪の状態になったのか？韓日・朝日関係の現状と展望について考える」をテーマで講演。金副代表は、過去清算について「日本政府は侵略と植民地支配に対して反省をしていないため謝罪しない」と述べ、「現在では軍国主義の復活を目指している」と指摘。「韓日の反戦平和勢力は連帯して、日本の軍国主義を阻止しなければならない」と語った。

また、新たな韓日・朝日関係の構築に向けての課題として▲歴史認識の接近努力を通じた韓日関係の改善▲「朝日ピョンヤン宣言」の再評価による朝日関係の改善などをあげながら、「日本における韓日・朝日連帯運動の役割は大きい。関係改善に向けて粘り強く運動を進めていこう」と訴えた。

講演終了後は活発な質疑応答が行われ、全港湾大阪支部の小林勝彦委員長が閉会挨拶した。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、公演や集会の動画などは韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ>

韓統連



행사예정 行事予定

4月

「私はチョソンサラムです」広島上映とトークイベント(広島)

日時: 4月24日(日) 13時~16時30分(12時30分開場) 場所: 広島市西区民文化センター ホール 内容: 上映会、出演者を交えてのトークイベント 参加費: 当日1800円、前売1500円(学生、障がい者無料) 主催: 同実行委員会 連絡先: メール chosensaram.h@gmail.com ホームページ <https://sites.google.com/view/choseonsaramhiroshima2022/>

「私はチョソンサラムです」大阪上映会

日時: 4月24日(日) 第1回上映10時20分~12時 トークショー12時20分~14時 第2回上映 14時20分~16時 場所: 東成区民センター ホール 内容: 上映会、出演者を交えてのトークショー 参加費: 当日1500円、前売1000円(高校生以下無料) 主催: 同実行委員会 連絡先: 06-6711-6377 メール: osaka@korea-htr.org

先日韓国大統領選挙の在外投票に行ってきました。有権者として当然の権利ではありますが、やはり投票すると気持ちがいよりますね。今回は追加投票所が職場の近くになので大変便利でした。いよいよ3月9日に投票。注目です!(李)